

# 地方創生ハッカソンin福井

## イベント概要

福井県福井市の「一乗谷朝倉氏遺跡における観光周遊性の向上」と「DXの推進による地域活性化」という2つのテーマをもとに、革新的なアイデアと技術によって解決することを目的としてハッカソンを開催

## 開催日時

令和3年11月27日(土)10時～20時

令和3年11月28日(日)10時～17時

## 開催場所

新・福井県織協ビル（オフィス棟）

## 参加人数

29名



## ①一乗谷朝倉氏遺跡における観光周遊性の向上

福井市の一乗谷朝倉氏遺跡は、年間70万人以上が来訪し、令和4年の件博物館閉館、令和6年の新幹線開業等による来訪者が増加する見込みがあります。このような状況に向けて、一乗谷朝倉氏遺跡が現在抱える課題を解決し、観光客の周遊性、利便性を向上するための提案を募集します。

## ②DXの推進による地域コミュニティの活性化

福井市では、地域コミュニティの担い手不足を解消し、地域コミュニティの維持、活性化を目指しています。

具体的例

1. 自治会活動のデジタル化
2. 日常生活での課題解決に向けたデジタル技術の導入
3. 地域住民のデジタル技術活用能力の向上について取り組もうとしており、今回はその実現に向けた提案を募集します。

## タイムテーブル

### Day1 11月27日(土)

時間	内容
10:00	主催者挨拶・オリエンテーション
10:10	福井県のDX戦略について
10:20	福井市殿下地区課題説明
10:40	一乗谷朝倉氏遺跡課題説明
11:00	開発ツールのご紹介
11:20	チームビルディング、フィールドワーク準備
12:00	ランチタイム
12:45	一乗谷朝倉氏遺跡フィールドワーク
13:00	殿下地区グループワーク
15:10	アイデアソン&ハッカソン
18:30	中間発表
20:00	Day2の説明/終了挨拶

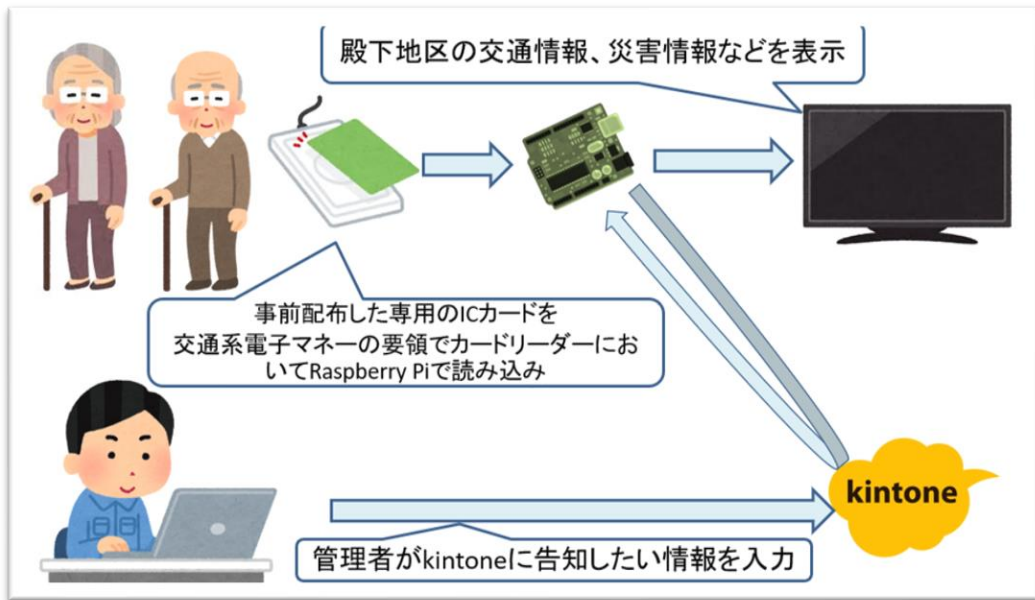
### Day2 11月28日(日)

時間	内容
8:30	開場
9:00	Day2のご案内
9:05	ハッカソン
12:00	ランチタイム
13:00	ハッカソン
15:00	ハッカソン終了
15:10	成果発表
16:20	審査/他チームのレビュー
16:40	結果発表/表彰
16:50	審査員コメント、閉会挨拶
17:25	写真撮影
17:30	終了

# 成果発表

## Aチーム：ピットツパ(速やかで簡単な情報伝達手段の開発)

殿下地区にお住まいの高齢者をターゲットに、老朽化する有線放送の代わりにテレビを利用して専用のICカードをかざすことで情報を受信する仕組みを構築し、簡便に情報を提供



## Bチーム：駐車場でチャリン

遺跡周辺の駐車場にセンサーを設置し、駐車場予約システムを提供。  
同システムから遺跡ツアーの予約も可能とし、地域に収益を還元

地域と共に、一乗谷朝倉氏遺跡（福井県）の魅力を未来に！

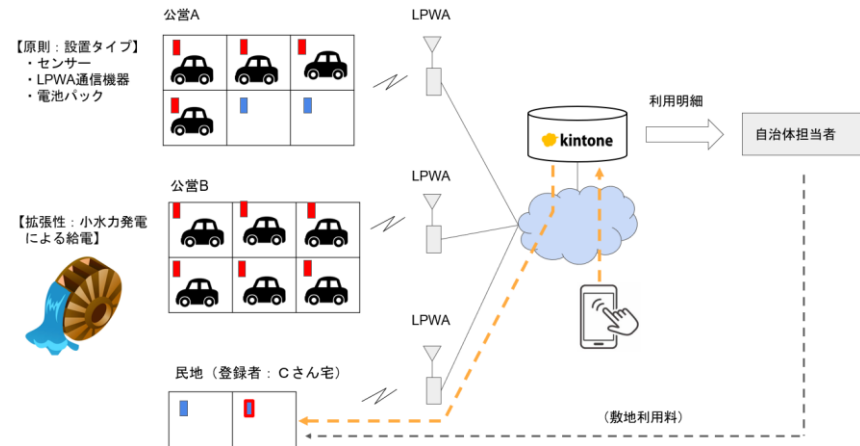
### 【課題】

- ・混雑時、駐車場に空きが無く、路上駐車が多い。
- ・滞在時間が短く（1時間程度）、地域にお金が落ちない。
- ・ボランティアガイドの継続的な確保が困難。
- ・「特別史跡」、「特別名勝」のため、変更工事に文化庁の許可が必要。



「仮称：駐車場でチャリン」がこれらの課題を解決し、  
一乗谷朝倉市遺跡にサステナブルな新たな価値をお届けします！

### 【駐車場予約システム概要】



## Cチーム：隠密行動

スマホの歩数APIを活用し、周遊ルートをスタンプラリー化し、スマホ世代に、周辺を散策してもらう機会を提供

「隠密観光」ってなに？

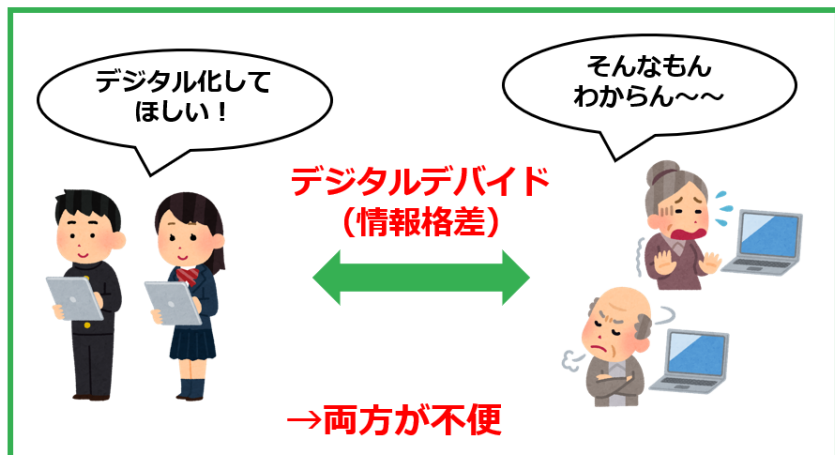
- ①周遊ルートをスタンプラリー化
- ②スマホ世代に歩いてもらいたい
- ③プレイヤーは周遊ルートを調査する忍者  
...という設定

「隠密観光」によって変わる観光スタイル

- ①滞在時間増える  
→ごはん食べる  
→お金落ちる
- ② 今までにないごっこ遊び
- ③ スタンプラリーのシナリオ変えて全国展開

## Cチーム：TUNAZY

地区内の誰もが情報を「見れる」「使える」仕組みとして、スマホの他、音声認識にも対応する端末・アプリにより簡便に情報を提供





## Dチーム：でんが放送

デバイスをテレビに接続するだけで、テレビを用いた「双方向情報共有サービス」を提供。イベントや防災情報の入手やそれらへの回答を容易に実現

### 課題を解決するアイデア

回転ずしの注文システムの事例をもとにチームで考案

DX化に対して抵抗感や不安を持つ高齢者の方々は多い。。。

⇒じじばばりテラシー

つまり、我々が高齢者を理解し、高齢者の立場に立ってサービスを提供する必要がある

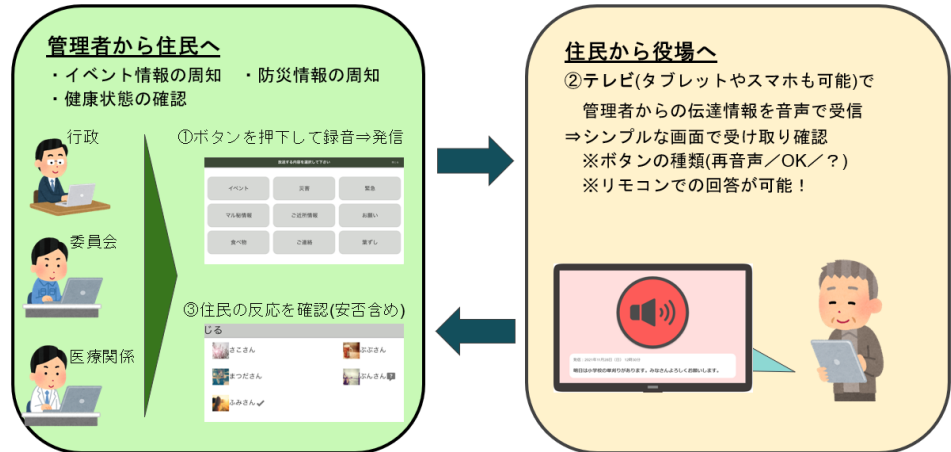
無理やりDX



知らぬ間にDX



### サービス利用の流れ



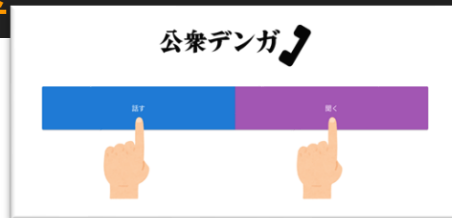
## Eチーム：デンガモデル

公衆デンガ(らくらく音声掲示板)と川センサー(氾濫危険情報の送信)による、交流の輪の広がり、迅速な情報伝達を可能にする。

### 機能 日常編

- ・ボタン一つでお助けTEL (自治会長や公民館への直通)
- ・行政や地区内のお知らせ等を電子ファイルでお届け (音声読み上げ)  
ポチッと録音してポチッと送信
- ・余った農作物をIoTデバイスを使用し、自動的、手動的に情報発信  
ex.欲しい人が事前に登録しておき、カゴに野菜を入れると  
地区内、地区外の人とマッチング

→ 情報網の拡大

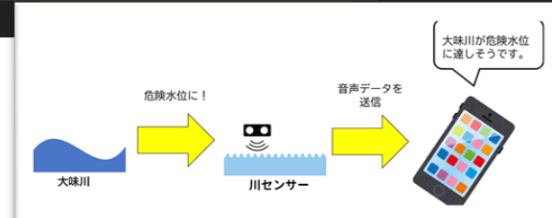


### 機能 非常時編

川に設置した水位センサからの氾濫危険情報の受け取り

道に設置した監視カメラ及びセンサからの土砂崩れや積雪情報の受け取り

→ リスクの低減、迅速な情報伝達



優勝

チームD デンガ放送

準優勝

チームA ピットツパ

福井新聞社賞

チームC TUNAZY

Joboco賞

チームA 駐車でチャリン

Joboco賞

チームE デンガモデル